



②細長い体が特徴のニジギンボ③笑っているように見えるニジギンボ

おもしろ生き物図鑑

かこしま水族館から

ニジギンボを含むイソギンボ科の仲間は、見る角度によって顔が笑っているように見える種が多くいます。穴からひよっこり顔を出してあまり逃げないことから、水中写真

ニジギンボが釣れて逃がすために針を外そうとしました。その時指先に痛みが走りました。なんとニジギンボが指先にかみついたのです。

ニジギンボの雄は巻き貝の殻や岩に開いた穴、時には海底に沈んだ空き缶などを巣にして、縄張りをもちます。巣を確保するのは中に雌を呼んで産卵してもらうためです。産卵した卵は雄が守ります。卵を守っている時や縄張り争いに、犬歯を使います。

愛らしい顔だがどう猛

ニジギンボ

学名 *Petrosciirtes breviceps*

分類 スズキ目イソギンボ科
全長 10センチ
分布 本州 中部以南・西太平洋
特徴 沿岸域に生息しており、幼魚は流れ藻につく。体側には目から尾びれの付け根あたりまで延びる暗色の帯があり、下顎には発達した2本の犬歯がある。水族館前のイルカ水路でも1年を通して見ることができ

る。

訂正

18日付の「おもしろ生き物図鑑」で読み仮名に誤りがありました。正しくは「雌雄交代」でした。お詫びして訂正します。

水族館4階のアマモ水槽で展示しているニジギンボたちも、当初は向かい合い、口を大きく開けて威嚇したり、時にはかみつきました。最近では決着がついたのか、戦う様子は見られなくなりました。かわいい顔に隠された「鋭い牙」をじっくりと観察してはいかがでしょう。か（魚類展示係・中村政之